

# 週報

福岡中央  
ロータリークラブ

四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか



「UNITE FOR GOOD」  
2025-2026年度 国際ロータリー会長  
Francesco Arezzo

よいことの  
ために  
手を取りあおう



「少しの成長から始まります  
ー1.01で成長、0.99で衰退ー」

国際ロータリー第2700地区  
2025-2026年度 ガバナー 濱野 良彦

「「PLUS」～少しの成長、そして確実な成長～」

2025-2026年度 福岡中央ロータリークラブ

会長 竹下 盛人 幹事 田中 明子

本日の例会 令和7年10月27日（第2128回）VOL.49 No.13

夜間例会

（筥崎宮迎賓館 La Saison）

地域社会の経済発展月間・米山月間

今後の  
例会予定

- ・ 11月 3日(月) 休会
- ・ 11月10日(月) クラブフォーラム
- ・ 11月17日(月) 卓話 福岡中央ロータリークラブ 清成留美会員

「羽田空港からの富士山」 礒田幸一郎



例会日…毎週月曜日 12:30～13:30 例会場・事務局…西鉄グランドホテル  
TEL 714-0305 FAX 714-0311 E-mail fukuoka-chuo-rc@wind.ocn.ne.jp HP <http://www.fukuoka-chuo-rc.jp>

## 前週例会の記録(10月20日)

### 出席報告

| 前回例会 10月20日 |        | 前々回例会 10月6日 |        |
|-------------|--------|-------------|--------|
| 会 員 数       | 53名    | 会 員 数       | 53名    |
| 出席会員        | 40名    | 出席会員        | 49名    |
| ビジター他       | 6名     | 修 正         | 1名     |
| 合 計         | 46名    | 免 除         | 0名     |
| 出 席 率       | 75.47% | 修正後出席率      | 94.34% |

-来訪者内訳-

卓話 安藤誠さん・山本浩史さん

東京クロスシティRC1名・福岡RC1名

米山記念奨学生 オレクシク,フランチスカ

クリスチーネさん・例会見学 坂元亮伍さん

計 6名

### ロータリーソング

青木 計世 ソング委員

・それでこそロータリー ・ロータラクトの歌

### 会長の時間

竹下 盛人会長



先週10/13(月)に閉幕した大阪・関西万博は、半年間にわたり開催されました。累計来場者数は2,700万人を超えたとされています。9月以降は1日20万人を超える日もあり、閉幕に向けて盛り上がりを見せました。大会期間中、僕も随分とお誘いを受けましたが、基本興味が無く、戴いたチケットも地元の社員に渡していました。しかし、NTTさんからの熱いお誘いを受け、「2時間だけ」を条件にお連れ頂きました。本当に「感動」しました。今日は、その感動の「おすそ分け」をします。

万博のテーマは「命輝く未来社会のデザイン」で、展示は「AI」「モビリティ」「遠隔医療」そして「通信」など、未来社会の課題に寄り添う内容が中心でした。

象徴的な構造物としては、なんといっても「大屋根リング」です。高さ20m、直径675m、

周長2,025m、これは万博開催年「2025年」に合わせた数字らしいです。閉幕後は200mを残し、残りの部材は、被災地住宅などに再利用されるとの事でした。

それでは、今回特別にご案内頂いた「NTTパビリオン」を改めて紹介させていただきます。

人類が通信として利用してきた物 ①手紙 → ②モールス信号 →そして③ダイヤル式黒電話 →④1970年デジタル回線のプッシュフォン電話 (FAX機能が搭載されました)→⑤1990年携帯電話 (特に携帯電話は、家に備え付けられた電話を個人が体の一部として持ち歩くという画期的な物でした)それから20年→⑥2008年スマートフォン(インターネット接続型のパソコンを体の一部として持ち歩くという想像を遥かに超える画期的な物でした)

更に今回、NTT館で紹介されていたのが、3D (立体)で、「空間ごと目の前に移動させる」、今居るこの場所と、離れた場所とを、リアルタイムで繋ぐという、にわかには信じ難い技術でした。次世代情報通信基盤「IOWN」と呼ばれる技術との事でした。

「Perfume(パフューム)」(3人組の女の子)が、1970年の万博会場、吹田市の「電気通信館」で歌い、踊る姿が、2025年のNTT館、舞島を結び、リアルタイムでまるで夢島会場の我々の目の前にいるかのように再現される。画像と音と振動と、その鮮やかなクオリティーは、実物その物でした。(ネット、YouTubeをご参照下さい)

振り返れば通信の歴史は、黒電話からプッシュフォンに変わったのが1970年、更にその20年後には携帯電話、更にその20年後には、スマートフォンと、進化してきました。きっと20年～25年後には、この「IOWN」を利用した「空間創造」という時代が必ずやってくると思います。

素晴らしいテクノロジーの進化です。それ以上に、人としての幸福度が向上する事を望み、「会長の時間」とさせていただきます。